

教科名	工業	科目名	自動車整備 I	
科目の目標	自動車整備に関する知識と技術を習得させ、実際に活用する能力と態度を育てる。			
履修学年	3 学年	学科・コース	自動車科	
単位数	2 単位	授業形態	一斉授業	
教科書	自動車整備	副教材等	三級ガソリンエンジン 自動車整備士試験問題と解説	
1 学習の目標				
自動車の構造・機能に関する基礎的教育を通して、自動車の点検・整備に関する技術を身に付け、三級ガソリン自動車整備士を取得させる。				
2 学習内容と進め方				
(1) 自動車各部についての構造・機能を理解させる。 (2) 自動車各部についての点検方法及び故障探求を理解させ身に付けさせる。 (3) 自動車各部の最新構造・最新技術等を理解させる。				
3 学習の留意点				
(1) 自ら主体的に考え、創意工夫して積極的に課題解決に向かう姿勢を大切にする。 (2) 知識・理解の到達度の目安として、三級ガソリン自動車整備士検定試験の合格を目指す。				
4 評価の方法				
授業での取り組み、国家試験対策練習問題、ノート提出、定期考査により総合的に評価する。				
5 授業計画				
月	単元	学習内容	評価の観点	考査等
4	自動車の整備と試験	バッテリーの整備	【関】 自動車のエンジン及び付属装置に興味関心を持ち、その構造・機能を理解しようと意欲的に取り組む態度が見られる。	期末考査
5		始動装置の整備	【思】 自動車のエンジン及び付属装置の作動原理や仕組みを理解し、その中で起こる現象や作動について、理論的に考えることができる。	
6			【技】 自動車のエンジン及び付属装置の作動原理や仕組みから、故障時の現象や故障探求の方法を理解する。	
7		充電装置の整備	【知】 自動車のエンジン及び付属装置の作動原理や仕組みを理解するとともに、最新構造や環境に係わる新技術も理解する。	
8				
9		点火装置		
10				

1 1		電子制御装置の整備	【関】 自動車の実際の走行に必要な各装置に興味関心を持ち、その構造・機能を理解しようと意欲的に取り組む態度が見られる。	中間考査
1 2		燃料及び潤滑剤	【思】 自動車の実際の走行に必要な各装置の作動原理や仕組みを理解し、それぞれの装置の必要性を考えることができる。	期末考査
1		エンジンの点検・整備	【技】 各装置の作動原理や仕組みから、故障時の現象や故障探求の方法を理解する。	
2			【知】 各装置の作動原理や仕組みを理解するとともに、働きや必要性和最新技術も理解している。	学年末考査
3				<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> この単元を 自己評価してみよう A B C </div>

【関】は「関心・意欲・態度」、【思】は「思考・判断・表現」、【技】は「技能」、【知】は「知識・理解」をあらわす。